

## R7（2025）年度 社会福祉法人ひらイルミナル「地域連携推進会議」議事録

事業所名：介護サービス包括型グループホーム遊牧舎

作成日：2026年4月6日(月) 担当者：川島 明子

開催：令和8年3月15日(日)13:00～15:00

会場：アクティビティサポートセンターゆい

出席者

構成員：地域関係者（1名）…地域自治会会長

地域の障害福祉担当者（1名）…江戸川区障害福祉課事業所支援係

地域福祉見識者（2名）…区障害者グループホームコーディネータ

区内訪問看護ステーション所長

利用者（4名）

家族（3名）

事務局：職員（9名、うち1名 法人地域窓口担当職員含む）

### ①施設長より挨拶

今年度より国の方針として「地域連携推進会議」の実施が打ち出された。その理由は、閉鎖的なグループホームがあるからだと思われる。本日の会議が、地域、関係者、利用者と家族の理解を深める機会になればと思う。

### ②地域関係者の紹介

- ・地域関係者より、自己紹介と自治会の説明がなされた。自治会加入世帯数、当町会の行事数は、トップクラスであること、力を入れている行事は、①防災訓練、②灯籠流し、③ハロウィーンであり、①防災訓練は、複数の町内会の合同により、許可が困難であった夜間訓練を実施。③ハロウィーンは、青年部が中心となり、珍しい子どもがメインの行事であることが紹介された。
- ・江戸川区障害者グループホームコーディネータより、区内障害者グループホームの説明がなされた。区内のグループホームの数は150ヶ所であり、この10年で倍になっている。平井地区はグループホームが少ない地域であるが、遊牧舎はその平井で精神障害を対象とするホームの運営を行っている。
- ・訪問看護ステーション所長より、自己紹介と訪問看護ステーションでの説明がなされた。遊牧舎は、グループホームを経由して、自立を目指すことに力を入れており、遊牧舎とは地域に根差した職種として二人三脚で、一人暮らし、または滞在型GHへ利用者の方を送り出すことをおこなっている。遊牧舎は、特に福祉的な観点が優れている。
- ・江戸川区障害福祉課事業所支援係より、今日の会議が、グループホームが地域の方々に理解して頂く機会となればと考えている。

### ③利用者・家族の自己紹介

- ・それぞれの入居時期や入居の動機や、特に家族からは自立に向けて本人の頑張りが感じられることや、行事参加は楽しくて精神的にいいと思われることなど声が聞かれた。

### ④職員の自己紹介

- ・本日出席の職員が、自己紹介とともに、役職、担当業務などを説明した。  
法人地域窓口担当者（1名）  
遊牧舎職員（8名、うちアルバイト1名含む）

### ⑤施設紹介

費用負担と備品の説明がなされた。利用料が居室ごとに異なること。入居時に頂いている権利金は、ハウスクリーニングに充当される。一般の賃借物件と同様に、ガス電気水道は、自分名義で契約をおこない、家電家具は、カーテン以外はGHで用意する。

食事提供はないが、買物支援や調理支援があり、希望者には、宅配弁当を提供(月2回)。

その他のサポートとして、本人のニーズに応じて、服薬管理や通院同行を実施。金銭管理の支援をおこなうこともある。

また、それぞれのユニット（I～V）の特徴をスライド写真と併せて説明した。最寄の駅やバス停へのアクセス、周辺の商店の状況、1棟借りの有無、ユニットバス、オートロックやエレベーター設置状況の有無など。

### ⑥活動報告

#### 1) 遊牧舎の生活

所長より、「一人ひとりの自己実現と誰にとっても暮らしやすい地域づくり」という法人理念にもとづき、遊牧舎は、「ひとりひとりが違う生活を送る」グループホームである。起床時間と就寝時間、食事の時間も、日中の過ごし方も、一人一人が違う生活を送っていることが説明された。

本人、サービス管理責任、世話人と共に「個別支援計画」を策定し、その人を中心とした「応援チーム」を作ることを大切にしている。

通過型GHの機能として、アセスメントと支援体制の構築があげられた。

#### 2) 地域活動

法人の地域窓口担当者より、これまでの地域活動について、特に、地域町内会との係わりについて、パワーポイントを使って説明がなされた。

2017年に遊牧舎の事務所が現在の所在地へ移転してしから始まる。法人理念として、「地域づくり」が掲げられているが、一方的に理解して下さいでは、押し付けにすぎない。地域住民としてのつながり、共助・共存ができればと思い、まず、顔を憶えてもらおうと考えて、法人の広報誌をお渡した。当初は、「どなたですか？」といわれていたが、今では、下の名前で呼んでもらうまでになっている。徐々に、打ち解けてきから、こちらから「何か、お手伝いはありますか？」と聞きし、2年くらい経過した時に、青年部の方から、年末(12月28日~30日)夜警を手伝ってもらえませんか、とのお声がけを頂くようにな

り、昨年は、お祭りの振る舞いを任せて頂いた。

2019年「夏祭り」では、「らくがきせんべい」を遊牧舎として初出店。その秋には、「第1回のハロウィーン」に参加し、事務所の駐車場でお菓子配りをおこなった。

今や「平井諏訪神社祭り」では、手作りのとても重い神輿の担ぎ手として、一緒に楽しむようになっており、「担いでくれて、ありがとうね」と感謝の言葉を頂いて、私たちも、地域の力になっている。

先日、2月27日（金）「防災訓練」は、企画から参加し、ひらイルミナルからは43名が参加した。

また、イベントだけでなく、地域とのつながりは、何気ない日常のなかにあると思っている。最初は、職員同行で買物をしていた利用者が、顔見知りとなったスーパーのレジの方のお声掛けで一人で買物をするできるようになったり、ご近所さんが、「〇〇さん、お元気なさそうだったけど、大丈夫かしら…」と知らせてくれたことでケアに結び付きということもあった。

最後に、会田より、地域活動の参加することの意義として、(1)刺激や喜びが生まれ、生活の彩となる。(2)地域の方と顔の見える関係となる。(3)大変な取り組みをしている地域の方と楽しく過ごすことができる、の3点があげられた。

#### ⑦質疑応答・要望・感想など

##### 1) 質疑応答

Q1 5ユニット、25名定員ということだが、満室なのか？

A1 現在3室空いているが、順次、待機者へ声掛けをおこなっていく。

Q2 機械警備は、どのくらいで駆けつけてくるか？

A2 支店から、10分くらい来る。

機械警備からの連絡で、電気代の未納がわかったことがある。

Q3 入居のルールはあるか？

A3 一人暮らしの場合なので、他の人を泊めるのはなし。

自分を傷つけない。他者を傷つけない。

近隣の迷惑行為をしない。

Q4 遊牧舎は、江戸川区区内での評判が高いので、問合せや指名を受けることが多いが、新ユニットの増設予定があるのか？

A4 増設の有りはある。再来年以降の見込み。

Q5 現在、江戸川区区内にグループホームは、152ヶ所ある。法制度となっていなかった時代には、親御さんたちが自分の財産をなげうってグループホームを作っていた。H1年に法制度となり、その当時は全国で100ヶ所であったが、現在では、22ヶ所となっている。数は満たされているが、質の部分が満たされていない事業所が多く、障害福祉サービスの中で、グループホームは一番虐待（認定）件数が多い。遊牧舎は、

質が高いが、何か心掛けていることがあるのか？

A5 特に、これといったことはないが、利用者を、一人の大人として何か必要であるかを考えている。

## 2) 要望 (Request)

R1 夜、8時頃に誰かが来ていた。録画ができない…。怖かった。

A1 防犯カメラの設置を検討したいと思う。

R2 寝起きに滑ったことがあるので、床が滑らないようにして欲しい。

A2 滑り止めなど、自分たちで、できる範囲で対応できればと思う。

R2 バリアフリーを求める人が、いるんではないか？

A2 支援することができる職員がいればと思う。

## 3) 感想

(本人が) 自分の知らないところに、色々と参加していることがわかったという家族の声や、自らが動いて、こんなに地域の活動に参加していること。また、それを受け入れる側の地域の力もすごいという見識者からの声が聞かれた。

## ⑧ 終了の挨拶

構成員として出席したくださった方へのお礼の言葉が伝えられた。